

ほ っ と 、 ひ と こ と 。

「〇〇推し課」に期待すること

◎皆さんは、北九州市に全国初の部署として設置された「〇〇推し課」をご存じでしょうか。この部署は、「推し活」の力をまちづくりに生かし、観光振興や地域経済の活性化を目的として新設されました。アニメや漫画、スポーツ、食、ものづくり、歴史や文化など、北九州市が誇る多彩な魅力を「推し」という新しい切り口で全国へ発信し、多くの人に北九州市を知っていただき、訪れていただくことを目指しています。私は、この新しい発想による取り組みに大いに期待しています。北九州市には、世界に誇る企業や高い技術力、美しい自然、新鮮で美味しい食、スポーツ、文化・芸術など、多くの地域資源があります。しかし、その魅力が十分に全国へ伝わっているとは言えません。だからこそ、「推し」という親しみやすい視点で北九州市の魅力を発信することは、多くの人に関心を持っていただくきっかけになります。そして、交流人口や関係人口の拡大、観光振興や地域経済の活性化だけでなく、市民一人ひとりがまちに誇りを持つ「シビックプライド」の醸成にもつながることを期待しています。また、市民や企業、大学、地域団体がそれぞれの「推し」を発信することで、新たな交流や地域活動が生まれ、市全体が元気になる好循環も期待できます。行政だけでなく、市民と一緒に育てていく取り組みとなることが重要です。一方で、新しい部署を設置すること自体が目的になってはいけません。本当に大切なのは、その取り組みが市民や地域にどのような成果をもたらしたかという点です。例えば、観光客や宿泊客が増えたのか、地域の売上や雇用につながったのか、北九州市の魅力が全国へ発信されたのかなど、具体的な成果を検証し、課題があれば改善を重ねながら次の施策へ生かすことが必要です。

私はこれまでも議会で、「施策は実施することが目的ではなく、市民生活や地域の変化という成果につながって初めて意味がある」と繰り返し訴えてきました。限られた財源だからこそ、効果を検証し、市民に分かりやすく説明しながら、より良い施策へと育てていく姿勢が欠かせません。「〇〇推し課」が全国初の取り組みとして成功し、北九州市の新たなブランドづくりにつながることを期待しています。私も、市民の皆さまからお預かりした大切な税金が有効に活用され、北九州市の魅力がさらに高まり、「住みたい」「訪れたい」「応援したい」と思っただけのまちとなるよう、議会で成果を確認しながら、必要な提案と政策提言を続けてまいります。

お知らせ

北九州市議会令和8年9月定例会は
9月2日(水)～10月6日(火)まで開催される予定です。

9月定例会では、令和7年度決算を審議し、その結果を今後の予算や施策へ反映していきます。議会は、どなたでも傍聴できます。議会中継や日程など北九州市議会のWEB SITEでご確認いただけます。

北九州市議会のHPはこちら



北九州市政に関するご意見・ご要望、身近な問題・課題などお聞かせください。

いずみひでお 事務所

〒802-0979 北九州市小倉南区徳力新町1-27-23-101

E-mail 123hideo0104@gmail.com

TEL 093-967-6615

FAX 093-967-6698

いずみひでおのホームページ

<https://izumi-hideo.com> HP移転しました



FaceBookにも日々の活動を更新中!

<https://www.facebook.com/izumi.hideo>



みらいへ、つなぐ、つながる。
北九州市議会議員
いずみひでお
市政報告
mirai

Vol.13

発行：2026年7月

この市政報告は政務活動費で作成しています。

●1968年1月4日生まれ●広徳小、広徳中、小倉工業高校、九州国際大学卒業●福岡県立豊津高校(現・育徳館高校)社会科講師を経て中小企業アドバイザーとして勤務●福岡県議会議員を2期8年●国民民主党福岡県連 幹事長●下南方東町内会長●徳力校区自治連合会 副会長●保護司 その他兼任



みらいへ、つなぐ、つながる。

北九州市議会議員

いずみひでお 市政報告



HIDEO IZUMI, Kitakyushu Municipal Administration Report

Vol.13

地域の声が、新しい街をつくる!

◎皆さま、本格的な夏を迎え、日差しの強い季節となりました。日頃より、小倉南区、そして北九州市のまちづくりや私の活動に温かいご理解とご協力をいただき、心より感謝申し上げます。令和8年度がスタートし、子育て支援や教育、防災・防犯、地域経済の活性化など、市民生活に身近な施策が本格的に動き始めています。今年度からは小学校給食費の無償化が実現し、子育て世帯の経済的負担の軽減につながり大きな一歩となりました。また、学校教育や地域医療、防災対策、高齢者福祉など、市民の皆さまが安心して暮らせるまちづくりに向けた取り組みも着実に進められています。私自身も、市議会での議論だけでなく、地域を歩き、市民相談や自治会活動、各種団体との意見交換を重ねながら、皆さまから寄せられたご意見やご要望を市政へ届けることを何より大切にしています。道路や公園などの生活環境の改善、防災・防災対策、子育てや介護に関する相談など、一つひとつの声に真摯に向き合い、少しでも地域の課題解決につながるよう取り組んでいます。また、今年は北九州空港開港20周年という節目の年を迎えました。24時間利用できるという全国でも数少ない強みを生かし、物流機能の充実や観光振興、企業誘致をさらに進めることで、地域経済の発展と雇用の創出が期待されています。さらに、小倉駅周辺では新たな交流施設の整備やイベントの開催など、まちのにぎわいづくりも進んでいます。こうした前向きな取り組みを一過性のものに終わらせることなく、将来につながる持続可能なまちづくりへと発展させ、若い世代が「住みたい」「働きたい」「子育てしたい」と思える北九州市を目指していきたいと考えています。市民の皆さまと力を合わせ、未来へ希望の持てるまちづくりを進めてまいります。

◎6月4日～12日に開催された令和8年6月定例会では、市民生活に直結する課題について一般質問を行い①北九州空港の活性化と、市民・地域に喜ばれる空港づくり②人権施策の現状と効果検証、今後の方向性③自治会運営における市の関与と加入率向上の3項目について、市民目線に立った提案や改善策を市に求めました。※次ページ参照
これからも、「現場第一」の姿勢を大切に、市民の皆さまの声を市政へ届ける橋渡し役として、一つひとつの課題に誠実に取り組んでまいります。引き続き地域の皆さまと共に考え、共に行動しながら、より良い北九州市を築いてまいります。お気づきのことや地域のお困りごと、ご要望などがございましたら、どうぞお気軽にお声掛けください。皆さまの声が、より良い北九州市をつくる大きな原動力です。

いずみひでお





市議会報告

令和8年6月4日から12日まで開催された北九州市議会6月定例会では、市民生活に密接に関わる課題について一般質問を行いました。

今回取り上げたテーマ

- 北九州空港のさらなる活性化
- 人権施策の現状と効果検証、今後の方向性
- 自治会運営における市の関与と加入率向上について取り上げ、市民生活に直結する課題を質疑しました。

北九州空港については、24時間利用可能という強みを生かし、利用促進や観光・物流機能の充実、企業誘致につながる取り組みを提案しました。人権施策については、深刻化するインターネット上の誹謗中傷への対応として、相談体制の充実や関係機関との連携強化、啓発活動の推進など、より実効性のある施策を求めました。また、自治会活動については、加入率の向上や役員の負担軽減、デジタル技術の活用など、地域コミュニティを将来にわたり維持・発展させるための支援策を提案しました。一般質問の内容と市の答弁は、以下で詳しくご紹介していますので、ぜひご一読ください。これからも皆さまの声を市政へ届け、安心して暮らせる北九州市の実現に向けて全力で取り組んでまいります。

北九州市議会はどなたでも傍聴できます。また、議会中継や会議録検索システムにより、インターネットでもご覧いただけます。

北九州市
MIRAIのカタチ②
インターネット上の
誹謗中傷対策について

誹謗中傷や差別のない 安心安全の街に!

SNSの普及により、インターネット上では誹謗中傷や差別的な投稿、人権を侵害する書き込みが深刻な社会問題となっています。被害者が精神的な苦痛を受けるだけでなく、日常生活にも大きな影響を及ぼすケースが増えています。

そこで、被害者が安心して相談できる支援体制や、インターネット上の投稿に対する削除対応の現状について確認するとともに、人権施策の効果を適切に検証し、より実効性のある施策へ発展させて相談体制の充実や関係機関との連携強化について伺いました。

令和8年6月定例会一般質問にて

[答弁] 市では、人権問題専用の相談窓口を設置し、相談内容に応じて法務局や福岡県警、弁護士などの関係機関と連携しながら対応しています。また、インターネット上の投稿について削除が必要と判断される場合には、法務局を通じてプロバイダなどへ削除要請を行う体制を整えています。さらに、現在策定を進めている「人権行政指針」においても、インターネット上の人権侵害対策を重点施策として位置付け相談体制や啓発活動の充実を図りながら関係機関と連携して取り組んでいきます。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

◎被害者が安心して相談できる窓口のさらなる周知と、誹謗中傷や差別的投稿の削除支援の強化を求めました。また、関係機関やプラットフォーム事業者との連携を一層深め、迅速で実効性のある対策を推進するよう要望しました。あわせて、人権施策は「実施すること」が目的ではなく、市民一人ひとりの意識や行動の変化につながる施策へ発展させるとともに、その成果を継続的に検証しながら改善を重ねていくことが重要であると指摘し、実効性の高い人権行政を推進するよう強く求めました。

北九州市
MIRAIのカタチ①
北九州空港の活性化について

地域の魅力を 発信できる空港がある街に!

北九州空港を単なる「移動の拠点」ではなく、人が訪れ、滞在し、北九州の魅力を体験できる「目的地」として発展させるべきと提案しました。親子で楽しめる常設型コンテンツの充実や、北九州ならではの食や特産品、観光資源を発信する空間づくりを進めることで、空港を地域ブランドの発信拠点として活用すべきと考え、市の今後の取り組みについて見解を伺いました。

令和8年6月定例会一般質問にて

[答弁] 市は、フライトシミュレーターや謎解きイベントなど、空港そのものを楽しめる取り組みを実施するとともに、地元グルメや特産品の販売など、利用者の満足度向上に取り組んでいます。また、台北線の再開や貨物取扱量の過去最高更新、滑走路3,000メートル化などの追い風を生かし、「北九州らしさ」を感じられる空港づくりを進め、交流人口の拡大や地域経済の活性化につなげていきます。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

◎北九州空港を「空の駅」として、市・県・国が連携しながら北九州ブランドを国内外へ発信する拠点へ発展させるよう提案しました。また、空港そのものが目的地となる魅力づくりをさらに進め、多くの人々が訪れたい空港を目指すべきと訴えました。あわせて、北九州空港を地域経済を牽引する成長エンジンと位置付け、観光振興や企業誘致、物流機能の強化につながる戦略的な投資を進めるとともに、市民にも親しまれ、国内外から選ばれる魅力ある空港づくりを着実に推進するよう要望しました。

北九州市
MIRAIのカタチ③
自治会加入率の向上と
持続可能な地域づくりについて

持続可能な自治会運営で 元気な街に!

自治会は、防災・防犯活動や高齢者の見守り、子どもの健全育成など、地域コミュニティを支える重要な役割を担っています。しかし、加入率の低下や役員の担い手不足、高齢化などにより、自治会運営は年々厳しさを増しています。そこで私は、若い世代や新たに転入された方が参加しやすい環境づくりや、役員の負担軽減、デジタル技術の活用などを進め、持続可能な自治会運営を実現するため、市としてどのような支援を行っていくのか質問しました。

令和8年6月定例会一般質問にて

[答弁] 市では、自治会運営の手引きの作成や研修会の開催、情報発信などを継続するとともに、現在「地域コミュニティビジョン」の策定を進めています。今後は、デジタルを活用した参加しやすい仕組みづくりや、企業・大学・NPOなど多様な団体との連携を進めるほか、行政から自治会への依頼事務の見直しを行い、地域コミュニティの活性化に向けた新たな取り組みを推進していきます。

北九州市の答弁に対するいずみひでおの意見と要望

◎若い世代や新たに転入された方が気軽に自治会活動へ参加できる環境づくりを進めるとともに、「自治会に入って良かった」と実感できる魅力ある地域活動を推進するよう要望しました。また、自治会が地域で果たしている役割や必要性を市民へ広く発信するとともに、役員の負担軽減やデジタル化への支援をさらに進め、行政と地域が連携しながら、将来にわたり持続可能で活力ある地域コミュニティづくりを進めるよう強く求めました。